

## 情報共有システムを利用した場合の工事成績評定の留意事項

情報共有システム(ASP方式)を利用した場合には、工事成績評定において評価(加点)対象とします。  
各項目において配点の上限値を設けていることから、上限値を超える評価(加点)はできません。

### 1.土木系工事

#### 【評価】

当該工事において、以下の①を実施するとともに、③～⑥のうち1項目以上を実施した場合は、「工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表」の「5.創意工夫」にて1点の加点とします。

【検査項目(細別)】5創意工夫 【細別】1創意工夫 【建設DX活用】工事情報共有システム又はオンライン電子納品

#### 【必須項目】

①「ASP方式の工事情報共有システム」を活用

「ASP方式の工事情報共有システム」を活用し、工事完成時にデータを電子納品した場合、評価します。

※「オンライン電子納品」を実施した場合の評価については、対象外とします。

#### 【選択項目】

③「遠隔臨場」を実施

モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を使用して、段階確認又は立会を1回以上実施した場合、評価します。

④「Web会議システムを活用した打合せ等」を実施

「Web会議システムを活用した打合せ等」を1回以上実施した場合、評価します。

⑤「デジタル工事写真の小黒板情報電子化」を実施

「デジタル工事写真の小黒板情報電子化」を行い、工事完成時に小黒板情報電子化写真を納品した場合、評価します。

⑥その他 ICT・デジタル技術を活用した業務効率化の取組を実施

その他 ICT(ICT活用工事として、創意工夫【施工】で評価されたものは除く)・デジタル技術を活用し、コスト縮減や作業効率の向上が確認された場合、評価します。

### 2.営繕系工事

#### 【評価】

当該工事において、情報共有システムを利用した場合は、「工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表」の「5.創意工夫」にて1点の加点とします。

【検査項目(細別)】5創意工夫 【評価対象項目】その他 【細目】その他の項目

1項目1点を目安とします。